

脊椎 MIS Cadaver Seminar に参加して

聖ヨゼフ病院 整形外科
小島 敦

この度、札幌医科大学で開催された NPO 法人メリジャパンによる脊椎 MIS Cadaver Seminar に参加をさせていただきました。あいにくの大雪にもかかわらず、会場となった札幌医科大学に全国から様々な経験年数の脊椎外科医が集まりました。

さて、コースの内容の詳細については、プログラムを参照していただければと思いますが、まず国内初の公募で行う第 1 回の脊椎 MIS Cadaver Seminar を開催するまでに、はちや整形外科病院の蜂谷裕道先生を中心に NPO 法人メリジャパンの関係者の方々の並々ならぬご努力とご苦勞があったことを参加者の一人として伝えたいと思います。

私自身は、海外での Cadaver Seminar にもこれまで数回参加させていただいて、外科医としてその重要さを実感しておりました。日本 MISt 研究会のメーリングリストで、今回のセミナーの公募の知らせが届いた際に、講師陣を含めコース内容の濃密さを見て、すぐに申し込みをしました。

それから約 3 か月、待ちに待ったセミナー当日となりました。

当日は千歳空港から札幌へ移動後に、セミナー前に有名なラーメン店に寄って行こうと思いましたが、大雪のせいで思った以上に到着に時間がかかりあえなく断念し、札幌医大に向かいました。

セミナーは札幌医大解剖学第二講座の藤宮教授のご挨拶から始まり、Cadaver Seminar に参加する気持ち・意義を心に留めた後、参加者全員の自己紹介となりました。

なぜか私はトップバッターでした。石井賢先生がいつも講演の際に自己紹介をしているのを拝見し、私も小さな講演をするときは自己紹介のスライドを入れるように心がけております。意外とそれがオーディエンスの方々の印象に残るので、このセミナーの自己紹介は、一人 3 分の持ち時間で、まさに自らをプレゼンテーションするとても面白い企画でした。それぞれの先生の経歴、趣味、個性などを知り得て、お互いの共通点を探すのに良いきっかけとなります。MISt 研究会は、学閥を越えて幅広く交流し、本音を言える会であると認識していますが、まさにそれを実践しているようなユニークな企画でした。

各講師の先生方の講義の後、JR タワーホテル日航札幌へ移動し懇親会が行われ、講師・参加者の先生方と乾杯し交流を深めました。他施設の先生と意見交換をできるのも、このような機会ならではのと思います。ほろ酔いの蜂谷先生のご挨拶からは脊椎 MIS Cadaver Seminar を開催するまでにどれだけ尽力なさっていたかが伺え、熱い思いが伝わってきました。懇親会終了後はワインに酔った千鳥足で、雪の札幌を歩き、らーめん赤星で味噌ラーメンを食べて酔いを醒まし、翌日のトレーニングに備えてススキノの誘惑には脇目も振らず、床に就きました。

翌日、朝 9 時より Cadavar トレーニングが行われました。参加者全員での黙禱を行い、各

テーブルで実習が開始されました。3-4名に1体の御献体でありました。人数配分は良かったと思います。1体5名以上となると、全員が時間内に納得のいくトレーニングを行うのは不可能と思われます。理想は1講師、2受講者であると思いますが、実現するのは種々の課題があると思います。

さて、蜂谷先生が私のテーブルの講師で、XLIFの手技を丁寧に指導していただき、経験豊富な先生の手技のコツを直々に教わることができました。腸腰筋の走行、神経の走行も確認でき、合計約5時間の実習時間でしたが、時間を持て余すことなく、他のテーブルの先生方も往來があり、充実したトレーニングをすることが可能でした。他のテーブルも見れたということもあって、もっと学びたいという欲求も出てきましたが、これは次回参加する意欲へ切り替えたいと思います。これまでに、日本では指導医のもとで実際の手術中に指導を受けることが一般的であり、時間的な制限や失敗が許されないという環境下で、ことこまかに何度も挑戦をするということはできません。しかし、Cadaverトレーニングでは、脊椎外科医としては経験の少ない医師でも、積極的な姿勢で臨めば、丁寧に指導をしてもらうことができ、とても良い経験となります。費用はある程度負担せざるを得ないわけですが、高いとは思いません。海外へ弾丸ツアーで肉体的にも経済的にも負担を強いるセミナーと比較し、実質的に3分の1から4分の1ではないかと思います。

わずか1日のセミナーではありましたが、日本の第1線のMIS^t surgeonに直接指導を受けることができ、非常に有意義なものとなりました。今後も積極的に参加する医師がでることを望みます。そしてお勧めします。機会があれば、ぜひまた参加したいと思うセミナーでした。

最後になりますが、幾多の困難を乗り越え開催された第1回脊椎MIS Cadaver Seminarに参加させていただいたことを、蜂谷先生、稲波先生、講師の佐藤先生、斎藤先生、高野先生、石井先生、吉本先生、参加された先生方、NPO法人メリジャパンの大口さん、加集さん、ほかのみなさま、札幌医科大学第二解剖学教室のみなさま、ならびに各メーカーの方々へ、この場を借りて深謝致します。



講義の様子



Cadaver 実習の様子

